

いわて環境と人にやさしい 次世代モビリティ開発拠点

●参画機関(太字はプログラム実施機関)

産…いわて自動車関連産業集積促進協議会

学…**岩手大学**、**岩手県立大学**、**一関工業高等専門学校**

官…**岩手県**、**岩手県工業技術センター**、**いわて産業振興センター**

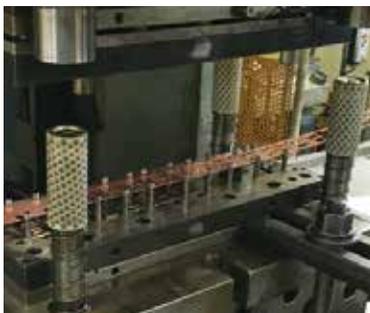
金…岩手銀行、北日本銀行

復興から次世代につながる先端的モビリティの創出

地域イノベーション戦略

科学技術による技術革新をベースに、震災からの復興と持続的なイノベーションを実現する地域を目指します。具体的には、これまで岩手に蓄積された自動車産業の基盤となる金属、プラスチック、電子デバイスなどの材料開発、先端制御や付加価値を生むICT技術の開発を中核とし、高度技術者の育成、産学官金による事業化の加速化を図り、将来を見据えたモビリティのイノベーションを進め、日本のものづくりの成功モデルを構築します。

事業成果



①バリレス金型の開発



② iPhoneアプリ「めぐり旅」の開発



③教材(PIUS EDUCATION Ver)の開発



④いわてショーケースカープロジェクトの企画・実施

①バリレス金型の開発

金型に代表される精密素形材加工を得意としている県内企業では、素形材加工の各種研究が盛んに行われ、多くの技術シーズを有している岩手大学と連携し、プレス加工にせん断部分に生じる不要物・バリを発生させない「バリレス工法」の開発に成功しました。平成28年度より県内企業が量産用金型に本工法を導入し、実用化を行っています。

② iPhone アプリ「めぐり旅」の開発

県内企業2社と岩手県立大学でiPhoneアプリ「めぐり旅」を開発しました。本システムはiBeaconを活用した、現地ならではの地域の魅力的なコンテンツを発信する機能や、利用者の移動データを蓄積し観光客の動向分析機能を持っています。この機能を生かし、岩手県宮古市の防災への取組「学ぶ防災」に支援用としても提供しています。

③教材(PIUS Education Ver)の開発

岩手県内のものづくり企業が開発した一人乗り電気自動車(商品名:PIUS)を、一関工業高等専門学校と共同で、電気自動車に関する人材育成教材(組み立てられる電気自動車)として開発しました。

本取組について、平成29年度より国際協力機構(JICA)が行う「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」に採択され、ベトナム社会主義共和国を対象に工業教育分野の開発技術者及びものづくり人材の育成に向け、本教材を普及することとしています。

④いわてショーケースカープロジェクトの企画・実施

本県には自動車に関わる多様な技術が根付いており、県内企業等が個々で有していた自動車関連技術をフレームカーに搭載し、県内技術全体の見える化や新たな技術・部品開発を行う取組を行う「いわてショーケースカープロジェクト」を企画し、これまでに60機関236部品を搭載、県内外でPRすることで技術力の発信や契約受注へと繋がりました。平成29年度より、本プロジェクトを東北・北海道へと活動の範囲を広げ、東北・北海道から約90社が参画、約200部品を搭載し、トヨタ自動車(株)本館ホールで行う「とうほく・北海道新技術・新工法展示商談会」に「とうほく・北海道ショーケースカー」として、展示PRすることとしています。

自立化に向けた取組

上記成果をもとに、総合調整機関であるいわて産業振興センターを中心に、フォローアップを行っております。特に、本県のイノベーション・エコシステムを促進する知のネットワーク構築活動により創出した

「ニーズ・シーズマッチングプロジェクト」について、引き続き、県内企業・大学機関のシーズ紹介を大手メーカー等に行い、課題解決に繋がる技術の開発を進めています。